



【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。子どもさん向けには担任の先生が教室に掲示して下さっております(。)]

1月の月目標「感謝してしっかり食べよう」をうけての学級活動①

の取り組みが各学級で今週実践なされます

～1月24日(土)～1月30日(金)は全国学校給食週間となっています～感謝

本日から本校では健康安全部の食育係の先生方や給食委員会の先生方【合田先生、小川先生、大谷先生】の提案を中心に)学校給食週間の4つの取り組みが始まります。では以下に示したいと思います。

- ①給食委員会の児童のみなさんが作成したクイズを給食時間に1月30日(金)まで放送する。
- ②学級活動(1)で給食に関する授業を行う。(パワーポイントで作成していただいているスライドをみながら学びます。)

低学年のめあては「なんでも食べよう」中学年のめあては「給食ありがとう」、高学年のめあては「給食記念日」です。

③各学年で給食にかかわってくださっている方へ、感謝のお手紙や作品をつくります。1年生は「調理員の先生方」に、2年生は「パン屋さんである唐人ベーカリーさん」に、3年生は「食材を提供して下さっているJAさん」に、4年生は「牛乳を提供して下さっている永利牛乳さん」に、5年生は「お米屋さん」に、6年生は「給食会さん」にお届けする予定です。もちろん給食費をお支払いくださっている保護者の方への思いを抱きつつの作成です。

④飯塚市学校給食会作製資料を1階に掲示しますし、給食室でどのように給食がつけられているかを見学させていただける予定です。413名分の給食を、7人の調理員の先生方が協力されて作っていただいているか。や、食材の量や、機器や、器具の大きさなどに着目して児童の皆さんは小川先生の説明立会いの下で見学ができます。

p.s.新聞各社を私が見ての知識ですが、「次年度令和8年度(2026)から小学校から順次に給食費を国が5200円負担して下さることが決まっている。と知りました。このことが本当でしたらご家庭の負担が軽くなるので素敵なお話ですし、福岡市さんや宮若市さんをはじめ一部の地方自治体さんが、今年度は給食費を負担して下さっているということを教育者目線で羨望していたところですから、今年の4月から私たちの住んでいる飯塚市をはじめ、全国の小学校公立小学校さんや義務教育学校(前期課程)さんや特別支援学校(小学部)さんから本当に無償化となることが本当であるならば夢のようなことでありますので通達を受け取れることを毎日願い続けます。(。-)なお、保護者の皆様には、市の教育委員会さんからお知らせがあり次第お知らせ致します。ちなみに給食無償化に必要な国の財源は年間3千億円程度と見込まれているそうです。(。)



全国学校給食週間(1月24日～30日)

1月24日から1月30日の1週間は全国学校給食週間です。
明治22年、お屋のお弁当を持って来られない子どもたちのために、お坊さんが「おにぎり、焼き魚、漬け物」を出したことが給食の始まりです。その後、戦争が始まり給食を作ることができなくなってしまいました。戦争が終わった後の日本は食糧が不足し、みんながおなかを空かせていました。そこで、日本の子どもたちを助けようとして海外から脱脂粉乳や小麦粉、缶詰などの食糧が贈られ、学校給食が再開されました。この日を記念した日が1月24日の「給食記念日」です。今の日本には食糧がたくさんあふれ、不自由なく生活していますが、世界には今でも戦後の日本と同じように、食糧がなくて困っている人たちがたくさんいます。この学校給食週間に、みなさんに食糧の大切さや食に関わる方々について考えてほしいと思います。

学校給食には、たくさんの方々が関わっています。米や野菜は、農家さんが畑を耕し、小さな種や苗を植えて大切に育てています。肉は、牧場の方々が毎日動物のお世話をして大切に育てています。魚は、漁師さんが船に乗って遠くの海まで行き、捕まっています。これらの品物を市場に持って行き、町の八百屋さんや肉屋さん、魚屋さんが買っていきます。毎日給食に出ている牛乳も、牧場や工場の方々のおかげで飲むことができます。

飯塚市では全国学校給食週間を通して、給食に関わる方々の働く姿や思いをみなさんに伝えたいと考え、一昨年度の「給食のパンができるまで」、昨年度の「給食の牛乳が届くまで」に引き続き、今年度は、「給食のご飯ができるまで」というポスターを作成しました。米農家さんや給食室の調理員さんだけでなく、米を精米したり、届けたりしてくれている方々もいます。実際に取材に行き、どのような作業をしているのか詳しく教えていただきました。さらに、みなさんへのメッセージもいただいています。姿が見えなくても、みなさんのために給食を支えてくれている方々がいることに気づいてもらえれば、うれしいです。

学校給食の意義や役割について理解と関心を深め、そして給食に関わる人たちに感謝して、食糧を大切にできるみなさんになってほしいと思います。

令和7年度 飯塚市学校給食会

道徳の研究授業がありました。

先日、道徳の研究授業が2本本校で行われました。4年生では「友情・信頼」についてを、「絵はがきと切手」という教材を通して考えあいました。切手代が足らなかったことを伝えるか伝えな



を自分の心の中や、クラスメートとの交流を通して考えあいました。子ども達の感想には「相手の事を考えてどんなことでも言い合える仲になりたい。」「間違っているのではと思ったら友達だから伝えにくいことでも伝えたい。」「本当の友達って信頼しあえる関係でいたい。」のような内容が書かれていて、また、短く「信頼」の一言を学んだ事の欄に刻んでいたお子さんもいて、自分も友達関係で悩んだらいいにくいけど伝えたいな。それが互いの信頼だよね。と思わせていただけた素敵な授業でございました。



けど伝えたいな。それが互いの信頼だよね。と思わせていただけた素敵な授業でございました。



1年生では、「親切や思いやり」についてを、教材「はしの上のオオカミ」という教材を使って、江崎先生が授業されました。おおかみさんが橋を渡らせるかどうかを登場人物のうさぎさんやくまさんの気持ちを考えあわせられていました。また、人にやさしくするとどんな気持ちになるかを役割演技（ロールプレイ）の手法を使って全員に体験させられて、自分の今までやこれからについても考えさせられていました。子ども達は「やさしくすると自分も相手もいい気持ちになります。」「本当につよい人はやさしいひと」とかいているお友達がいて、大人のわたし達が学ばせていただけた素敵な授業でございました。素敵な授業を見せてくださった。花元先生、江崎先生、同学年の先生方をはじめご指導くださった関係の全ての先生方、参観された全教職員の皆さん、高見指導主事様そして、全4年生、全1年生の児童の皆さん。すてきな心の一部をみせてくださってありがとうございました。(..) 今後は楽しみです